

# BUSINESS REPORT

第62期 || ビジネスレポート 平成24年3月1日 ⇒ 平成25年2月28日

## トップインタビュー

産業構造の変化を踏まえ、情報力と技術力を駆使して自らを変革し、進化し続ける企業を目指します



平成25年5月  
取締役社長 南雲 文彦

Q1

第62期(平成25年2月期)の取り組みについて教えてください。

A

当社を取り巻く経済環境としては、世界経済の減速、歴史的な円高、中国との関係悪化など厳しい状況が続くなか、政権交代による景気回復への期待感が高まっているものの、当社が関係する機械工具業界を取り巻く実需の増加を反映するまでには至ってはいない状況となっております。

今期は、「中期経営計画Change2013」の2年目として以下の項目に注力しました。

### NESSプランの推進

情報力と技術力を駆使した提案営業を展開することにより切削需要の掘り起こしを実施

### 計測機器への注力

主力の切削工具に次ぐ柱と位置付け、商品提案を実施

### JIMTOF2012への出展

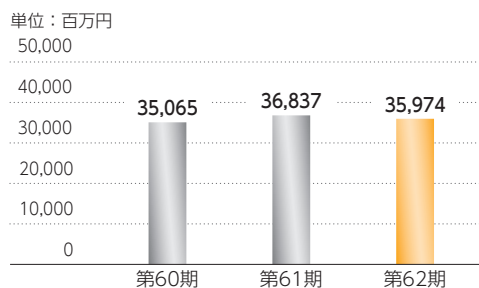
「未来加工」をテーマに新しい加工方法を提案

### グローバル化の推進

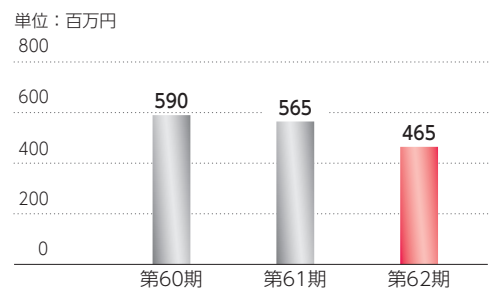
ベトナムでは6月に現地法人が事業を開始し、タイでは更なる事業拡充に向けて人員を増員

## 決算ハイライト

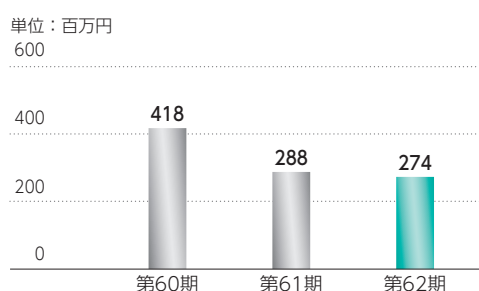
### 売上高



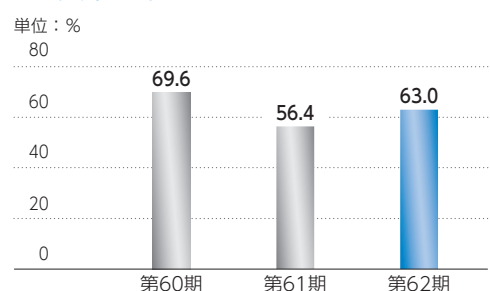
### 経常利益



### 当期純利益



### 自己資本比率



(注) 第61期以前は非連結、第62期は連結ベースで記載しております。

# Q2

第63期(平成26年2月期)に取り組む課題につきまして教えてください。

A

今後の経済環境の見通しについては、景気回復に向けた動きが期待されますが、一方で国内生産の海外移転の進展や長引く欧州の政府債務問題などを考慮すると、当面は不透明な状況で推移するものと認識しております。

このような認識のもと、当社は最終年度を迎える「中期経営計画Change2013」の重要施策の徹底を図ってまいります。

当社は、専門性を武器にした業界にあってはならない存在感ある「専門力会社NaTO」を目指しております。切削分野についてはさらに磨きをかけるとともに、周辺分野への取り組みを強化してまいります。平成25年3月には、これまで注力してきた計測分野をさらに強化・推進するために「計測開発部」を新設しました。計測分野は切削分野と密接な関係があり、取り組むことによる相乗効果が期待できると確信しております。

おかげさまで当社は今年設立60周年という節目の年を迎えることができました。これまでご協力いただいた関係者様への感謝の気持ちを忘れず、新たな60年を築いていきたいと思っております。株主様ならびにお取引先様におかれましては、今後より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



次期は名古屋で開催されるMECT2013（メカトロテックジャパン2013）に参加します。様々な加工提案のできる商品を紹介します。

**MECT2013**  
メカトロテック ジャパン 2013  
MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN  
開催日程：2013年10月23日～26日

## 中期経営計画「Change2013」

次期は「中期経営計画Change2013」の最終年度となります。

「目まぐるしい環境・市場の変化（Change）に対し、「情報と技術」を武器に挑戦（Challenge）し続け、新たなビジネスチャンス（Chance）を創り出す」というコンセプトのもと、4つの重要施策をスピード感を持って取り組んでいきます。

### 1. 事業領域の拡大

- ① 成長産業への参入
- ② グローバルネットワークの拡大
- ③ マーケティング機能の強化

### 3. 人財の育成

- ① 教育・研修制度の充実
- ② マネージメント力の強化
- ③ プロフェッショナル人財の育成
- ④ 人事制度の再構築
- ⑤ 組織の活性化



### 2. 収益基盤の強化

- ① 生産性の向上
- ② 既存コア事業の強化
- ③ プライベートブランド戦略の強化
- ④ 情報システムの強化

### 4. 内部統制の充実

- ① コンプライアンスの徹底
- ② 営業・業務マニュアルの徹底

## 計測開発部の新設

当社の強みは、切削工具を中心とした「情報力」と「技術力」にあります。計測分野をこの切削工具に次ぐ柱として位置付け、切削分野の強化を図るために計測開発部を新設しております（平成25年3月1日付）。切削を基軸に計測分野にも商圏を広げ、また逆に計測から切削分野にも影響力を広げるなどの相乗効果が期待できるものと確信しております。

取扱商品につきましても、現在の仕入先様との取引の拡大を図るとともに、新たな商品開拓を進めていきたいと考えております。



## 株式分割・単元株式数の変更について

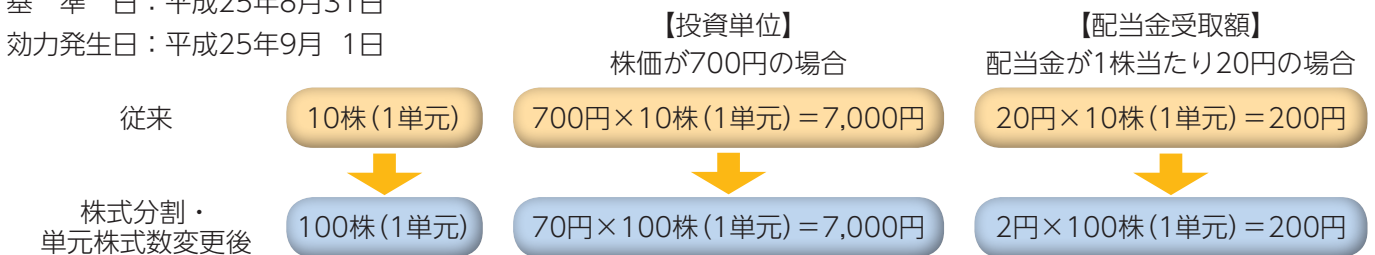
当社は、平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社普通株式の売買単位を100株とすべく、当社普通株式1株を10株に分割し、単元株式数を10株から100株に変更します。

なお、この株式分割と単元株式数の変更を同時に行うため、株主様への実質的な影響はございません。

### ≪ 株式分割・単元株式数変更のイメージ ≫

基準日：平成25年8月31日

効力発生日：平成25年9月1日



## 事業内容

当社は、機械工具の商社として、メーカーとお客をつなぎ、エンドユーザーのもとへ商品をスムーズにお届けするという大切な役割を果たしております。

日本国内で、モノをつくる製造業はとても重要な位置にあります。私たち機械工具商社が産業の基礎資材を円滑に供給することによって、製造業のさらなる発展を支えることにつながります。



## 連結財務諸表

### 経営成績

#### 連結損益計算書 (要旨)

(百万円)

	当期 (連結)	《参考》 前期 (非連結)
売上高	35,974	36,837
売上総利益	3,788	3,922
販売費および一般管理費	3,643	3,653
営業利益	144	269
経常利益	465	565
当期純利益	274	288

#### 【ポイント】

主力の切削工具に加え計測機器などの販売促進に注力し、また4月に設立したNAITO VIETNAM CO.,LTD.が6月に事業を開始するなど「中期経営計画Change2013」の2年目として重要施策に積極的に取り組みました。

### 財政状態

#### 連結貸借対照表 (要旨)

(百万円)

	当期 (連結)	《参考》 前期 (非連結)
流動資産	12,885	14,381
固定資産	2,502	2,423
総資産	15,388	16,804
流動負債	5,083	6,587
固定負債	615	735
純資産	9,689	9,481
負債および純資産	15,388	16,804

#### 【資産】

下期における業績が低調に推移したことにより、受取手形・売掛金が減少したことなどが主な要因です。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(百万円)

	当期 (連結)	《参考》 前期 (非連結)
営業活動によるキャッシュ・フロー	365	510
投資活動によるキャッシュ・フロー	175	△753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△654	310
現金および現金同等物の期末残高	265	378

#### 【負債】

下期における業績が低調に推移したことにより買掛金が減少したことおよび借入金を返済したことが主な要因です。

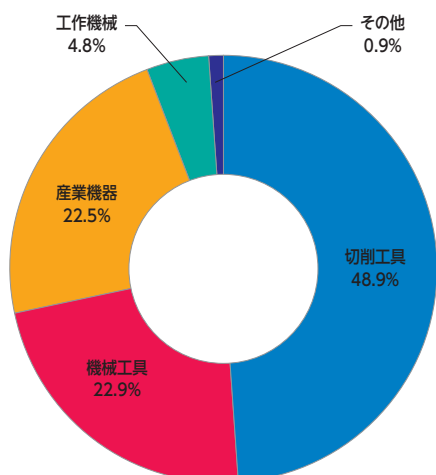
#### 【純資産】

配当金の支払いおよび当期純利益の計上が主な要因です。

## 取扱商品別売上高の状況

取扱商品	当期 (連結)		《参考》 前期 (非連結)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
切削工具	17,586	48.9	18,468	50.1
機械工具	8,237	22.9	8,382	22.8
産業機器	8,094	22.5	8,270	22.5
工作機械	1,724	4.8	1,338	3.6
その他	331	0.9	376	1.0

#### 取扱商品別売上高 構成比 (当連結会計年度)



#### 【切削工具】

関連する自動車生産・販売台数がエコカー補助金の終了に伴い夏場以降減少した影響などにより、売上高は175億86百万円となりました。

#### 【機械工具・産業機器・工作機械】

計測機器や工作機械等への販売促進強化を図ったことなどにより、売上高は機械工具82億37百万円、産業機器80億94百万円、工作機械17億24百万円となりました。

## 株式の状況 (平成25年2月28日現在)

- 発行済株式総数 5,175,618株  
普通株式 5,099,125株 (自己株式 2,794株)  
第一回優先株式 76,493株
- 株主数 1,307名  
普通株式 1,296名  
第一回優先株式 11名

### ● 普通株式に対する大株主

株主名	持株数(株)
岡谷鋼機株式会社	2,500,000
日立ツール株式会社	310,896
株式会社タンガロイ	309,496
ユニオンツール株式会社	309,080
京セラ株式会社	308,000
株式会社不二越	156,890
S M C 株式会社	154,700
日東工器株式会社	154,130
大昭和精機株式会社	154,030
N a I T O 取引先持株会	144,150
株式会社彌満和製作所	77,430
株式会社ミットヨ	77,090

### ● 第一回優先株式に対する大株主

株主名	持株数(株)
株式会社みずほ銀行	21,964
株式会社りそな銀行	16,133
野村證券株式会社	13,338
株式会社千葉銀行	11,301
株式会社三井住友銀行	4,000
株式会社愛媛銀行	3,485
株式会社第四銀行	2,091
神奈川県信用農業協同組合連合会	1,952
兵庫県信用農業協同組合連合会	1,045
朝日生命保険相互会社	836
三井住友信託銀行株式会社	348

## 会社の概要 (平成25年5月21日現在)

社名	株式会社 Naito
本社	東京都北区昭和町二丁目1番11号
設立年月日	昭和28年1月23日
資本金	22億91百万円
従業員数	294人 (平成25年2月28日現在)
証券コード	7624 (大阪証券取引所JASDAQ (スタンダード))
事業内容	切削工具、機械工具、産業機器、工作機械等の販売
取扱メーカー	国内外約1,000社
販売先	国内外約2,000社
取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、常陽銀行

### 役員

取締役社長	南雲文彦	常勤監査役	遠藤孝之
取締役	河野英之	監査役	白川誠
取締役	徳田信幸	監査役	川松康吉
取締役	中島徹	監査役	河村元志
取締役	和田光央		
取締役	坂田光徳		

### 株主メモ

事業年度の末日	2月末日
定時株主総会	毎年5月
基準日	2月末日、その他必要により取締役会で決議し、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	普通株式 10株 優先株式 1株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告掲載新聞	日本経済新聞

